

公共交通地区別座談会 神戸地区

開催結果報告書

平成30年11月12日
館山市企画課

【もくじ】

0.公共交通地区別座談会の実施目的	3ページ
1.公共交通地区別座談会（神戸地区）実施概要	4ページ
2.神戸地区の特徴など	5ページ
2-1.神戸地区の位置（GIS地図から）	6ページ
3.館山市の公共交通の現状に関する説明	7ページ
4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明	7ページ
5.グループワーク	8ページ
5-1.神戸地区で出された意見	10ページ

0.公共交通地区別座談会の実施目的

- ◆今年度及び2019年度（平成31年度）の2年をかけて策定する「館山市地域公共交通網形成計画」に、地域住民の生の声やニーズを収集し、分析を行う
- ◆分析結果については、計画内容になるべく具体的に反映させるとともに、当該地域における移動手段の必要性や確保策などについて検討するための資料とする
- ◆移動手段の必要性や確保策の検討結果を踏まえ、その導入や維持について検討していく

1.公共交通地区別座談会（神戸地区）実施概要

【日時】

- ◆2018年（平成30年）11月2日（金曜日）午後2時から午後3時30分

【会場】

- ◆旧神戸小学校 校長室

【参加者数】

- ◆神戸地区住民35名（女性12名、男性23名）

【内容】

- ◆館山市の公共交通の現状について、資料を用い説明（市企画課職員）
- ◆路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け割引制度説明（ジェイアールバス関東社員）
- ◆グループワーク
 - 下記のテーマについて、参加者が意見を出し合い、それを付箋に記入し可視化
・移動について困っていることや課題だと思いませんか？また、課題や困っていることを解決するため、住民の皆さんでできることはありますか？
 - 最後に、市職員が出された意見等を集約し、発表

2.神戸地区の特徴など

【地区の生い立ち、特徴】

- ◆ 館山市の南部に位置し、安房地域の一宮である安房神社が所在する（神戸の地名の由来も安房神社と関連がある）
- ◆ 神戸レタスや花の栽培等、農業が盛んに行われている

【商店分布・交通の状況】

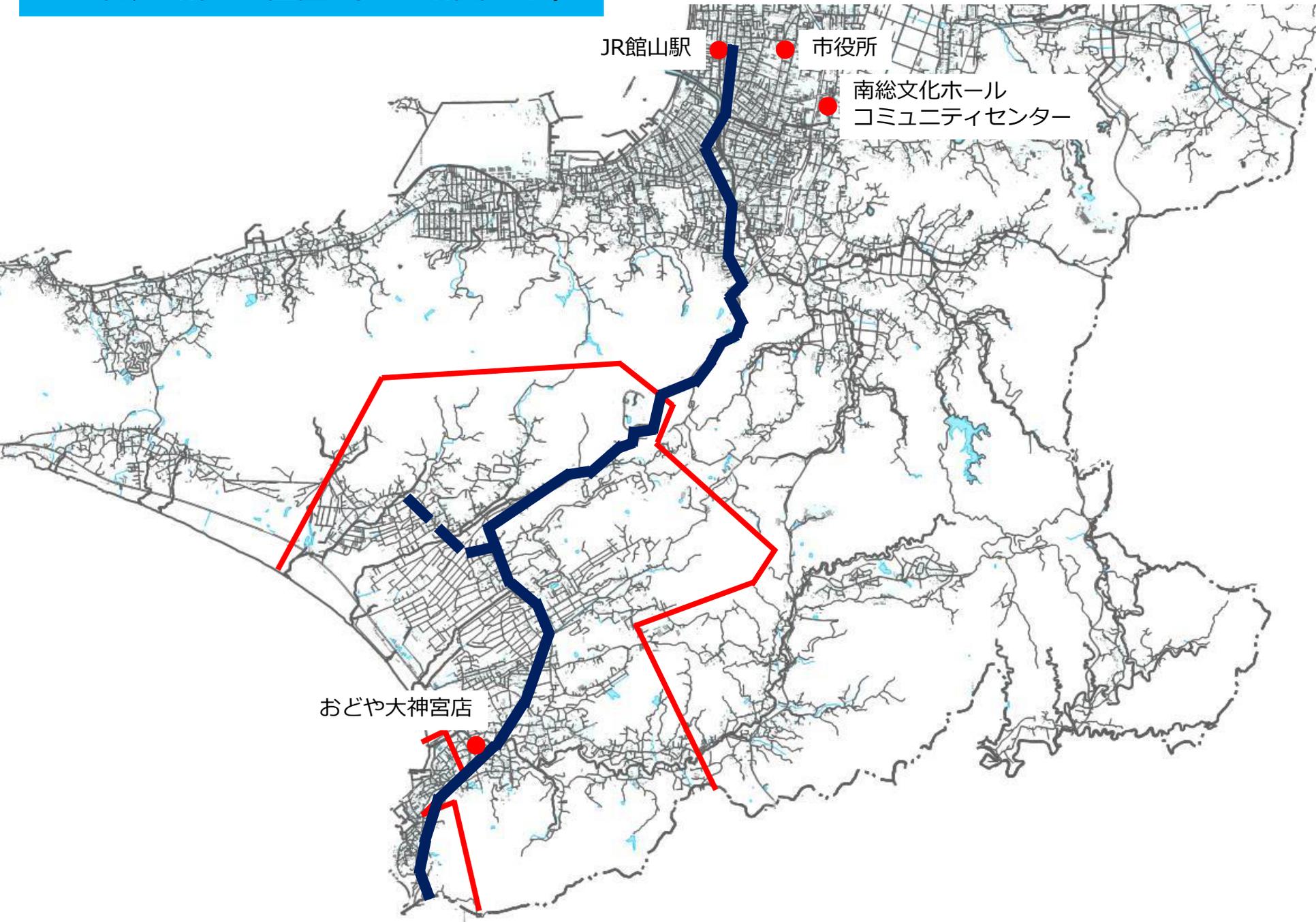
- ◆ スーパーは相浜交差点付近に「おどや大神宮店」が所在する
- ◆ エリアは広く、市内中心部からは距離がある
- ◆ ジェイアールバス関東の「南房州本線」が国道410号を通っている
- ◆ 竜岡集落にはバスが通っておらず、布沼集落は通学時間帯のみで実質交通空白地、それ以外もバス停から離れた（国道からやや距離がある）集落が多い

【人口の状況等】 ※住民基本台帳人口を基にした館山市統計データを参照

- ◆ 4月1日現在、地区人口2,933人（平成20年度比95.9%）
高齡化率42.9%（平成20年度高齡化率33.9%）
集落別高齡化率：大神宮49.2%、中里31.3%、竜岡48.3%、犬石39.1%、佐野44.5%、藤原41.9%、洲宮41.9%、茂名56.7%、布沼43.7%
集落により差はあるものの、高齡化の進展が著しい

2-1.神戸地区の位置 (GIS地図から)

青線：館山駅からのバス路線



3.館山市の公共交通の現状に関する説明

【説明内容】

- ◆鉄道・路線バス・タクシーとも、利用者が減少傾向であること
- ◆加えて、バス・タクシー業界では担い手不足や高齢化が課題であること
- ◆事業者の独立採算では公共交通の維持が難しくなっていること
- ◆公共交通を維持していくためには、行政・事業者・住民皆が「自分ごと」として捉え、連携して取り組んでいく必要があること

4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明

【説明内容】

- ◆基本的な路線バスの乗り方について
- ◆65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度「ノーカーサポート優待証」の内容や発行方法などについて

5.グループワークの結果（1/2）

○グループをつくり、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆夜間のバス便を設定してほしい

- ・最終バスが館山駅19時発のため、仕事帰りに利用できず、車で行かざるを得ない
- ・高校生が部活帰りに使うのも難しい

◆バイパス、イオン、市役所等に行けるバスを設定してほしい

◆車両を小型化し集落内運行を行ってほしい

- ・国道沿いのバス停から遠い集落もあるため、小回りの利く車両で集落内を走らせてほしい
- ・幹線（ジェイアールバス関東の路線）と集落内運行を別で考え、幹線は残す

◆運賃補助等、高齢者向けの支援策を導入してほしい

- ・年金生活者等にとってバス代の負担は大きいため、東京都シルバーパスのような支援制度を取り入れてほしい

◆バスのバリアフリー化、高齢者の介助を行ってほしい

- ・バスのステップが高いため、利用を諦めている人もいる
- ・シルバーカーを持った人などのサポートをしてくれば、利用者が増えるのではないか

◆車を持たなければ生活できない厳しい現状がある

- ・若い人のサポートがないと外出できない
- ・高齢のため本当は車を運転したくないが、免許を返納したら生活できない
- ・竜岡集落は車の運転ができない高齢者が半分くらいおり、皆買物難民となっている

5.グループワークの結果（2/2）

○グループをつくり、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆公共交通をまちづくりとあわせ、総合的に考える必要がある

- ・現状、館山駅に行っても何もないので、駅周辺の活性化を行い、賑わいを取り戻す必要がある
- ・駅周辺が活性化すれば、バスで行っても便利で楽しい
- ・逆に、地区公民館等に市役所の出張所が「来る（開設される）」ことを望む
- ・駅周辺等の市街地のみでなく、地元で頑張っている商店が活力を失わないようにすべき

◆交通が便利になれば移住者も増える

- ・移住者が、館山のバスは高いと驚いていた（東京都心の220円均一等と比べて）
- ・不便なため、都会に帰ってしまった移住者もいる
- ・IT関係の若い人などをもっと呼び込む必要があるのではないか

◆市の考え方や実施可能な施策について明確にしてほしい

- ・コミュニティバス等の導入意向有無などについてはっきりさせてほしい
- ・他地域の事例や行政として実施可能な方法などを事前に示してほしい

5-1.神戸 出された意見

夜間のバス運行要望

帰りのバス便があれば利用する 21時以降にあれば

遅い時間にバスがないので車で行き、駅前の有料駐車場を利用している

最終バスが19時だと高校生が部活帰りに利用できない

最終バスが20時台まであれば仕事帰りに使える

バス行先に関する要望

バイパス経由（商業施設や市役所等）があるとよい

イオンまで乗り入れてほしい

警察署や安房合同庁舎に行くバスがない

市役所に行くバスがほしい

特別支援学校（中里）方面に行くバスがない

安心して病院に行ける交通手段がほしい

小型化・集落内運行

網の目の中（集落内）に入るバスがほしい

小型で集落内まで入ってくるバスがほしい

小回りの利く交通システムがあるとよい

小型化は将来的にも無理な話なのか？

観光客や運動公園利用者で大型が満員になることも

幹線と集落内を分けて考える

運賃補助・高齢者支援

高齢者向けの支援制度がほしい

東京のシルバーパスのようなものを導入してほしい

移住者が館山のバスが高くてびっくりしたとのこと

運賃が高く、年金生活者がバスを使うのは厳しい

バスのバリアフリー化

シルバーカーを持っていくとバスに乗りづらい

バスのステップが高いため利用を諦めている人がいる

シルバーカーを持った人をサポート（乗降補助）してくれれば乗る人が増えると思う

東京は全てノンステップバスである

地域の現状

田舎は若い人のサポートがないと外出できない

高齢で本当は車を運転したくないが、返納できない

館山市は免許返納すると生活できない現状がある

竜岡集落は車の運転が出来ない高齢者が半分くらいおり、皆買物難民である

5-1.神戸 出された意見

移住者取り込み

交通が便利になれば移住者も増えると思う

IT関係の若い人など呼び込むことも必要

不便で都会に帰ってしまった移住者もいる

まちづくりの視点

公共交通はまちづくりとあわせて総合的に考えるべき

駅周辺（中心部）を大改造」できたらよいと思う

駅の賑わいが取り戻せるとよい

駅周辺が活性化すればバスで降りても便利、楽しい

地区公民館等に市の出張所を設けてほしい

市街地だけでなく、地元で頑張っている商店が活力を失わないよう考えるべき

地域助け合い交通の課題

地域助け合い交通は保険の問題がある

地域包括支援センターの考え

包括支援センターとしては、行政だけでは対応が無理だと考える 地域の人のごんごんとを今後も聞いていきたい

市の考えや実施可能なことを明確に

市はコミュニティバスの導入意向を持っているのか？

実施可能なサービスや形態を行政が示してほしい

その他

神余の県道を回送で走るバスに乗車できないか

民間やNPOに出資して公共交通を担ってもらうシステムがあるとよい

いずれ、AIによる自動運転が導入されるかもしれない